

1.1版 2017/03/02

富士通フロンテック株式会社

# 変更履歴

版数	変更日	内容
1.0	2016/12/06	初版
1.1	2017/03/02	P.14,15:誤記訂正
		ドライバインストール後の動作確認時のパス名修正。

1.	はじめに	4
<i>2</i> .	リーダライタの認識確認	. 6
З.	ドライバインストール	12
4.	ドライバインストール後の動作確認	14
5.	その他	15

#### 1. はじめに

本書は、カウンターセンサースリム(以降、リーダライタと記載)のドライバインストールについて記述しています。

本書での表記について

#### ■ 画面例およびイラスト

本書に掲載されている画面およびイラストは一例です。お使いの環境によって若干異なることがあります。

■ 商標について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標 です。

そのほか、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。 また、本書に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示(@、<sup>™</sup>)を付記してい ません。

(1) 対応OS

Windows 7, 8, 8.1, 10 Professional 32bit/64bit 日本語版

- (2) 対応機種 TFU-RW811A
- (3) その他注意事項
  - 1) PC1台に複数のカウンターセンサースリムを接続した場合の動作はサポートしていません。
  - 2) 本装置は、「ヒューマン インターフェース デバイス」(HID デバイス) として Windows に認識されます。
  - 3) ドライバインストールを行うと、本装置用の動作確認ツールのインストールも合わせて 行われます。
  - 4) 操作の途中で「ユーザーアカウント制御」 画面が出た場合は、「はい」 をクリックします。
  - 5) 説明文中の画面は Windows 7 (32bit 版)の場合の例です。
  - 6) Windows の「デバイスマネージャー」は、以下方法で起動できます。

※Windows 7 の場合: 画面左下のスタートメニューを左クリックし、一覧の「コントロールパネル」をクリックします。一覧が表示されるので、その中の「デバイスマネージャー」をクリックして 起動します。なお、「コントロールパネル」に「デバイスマネージャー」がみつからない場合は、「ハードウェアとサウンド」をクリックして探してください。

※Windows 8, 8.1, 10の場合:

[Windows ロゴ]キーを押しながら「X」キーを押し、一覧の「デバイスマネージャー」を クリックします。

- 7) Windows の「エクスプローラー」は、以下方法で起動できます。 [Windows ロゴ]キーを押しながら、[E]キーを押します。
- 8) インストールする PC の Windows が 32bit 版か 64bit 版か判別する方法 ※Windows 7 の場合:

画面左下のスタートメニューを左クリックし、一覧の「コンピュータ」を右クリックし、 プロパティをクリックします。表示された「システム」欄の「システムの種類」欄を確 認します。

※Windows 8, 8.1, 10 の場合:

[Windows ロゴ]キーを押しながら「X」キーを押し、一覧の「システム」をクリックしま す。表示された「システム」欄の「システムの種類」欄を確認します。

- 注)「システムの種類」欄の見方
  - ・「32 ビット オペレーティング システム」と表示されていれば、32bit 版
  - ・「64 ビット オペレーティング システム」と表示されていれば、64bit版





### 2. リーダライタの認識確認

- (1) リーダライタの USB ケーブルを、PC 又は、PC に接続した USB ハブに接続してください。
   注) USB ハブを使用する場合は、セルフパワー(電源付)のものをご使用ください。
- (2) 「デバイスマネージャー」を起動します。
- (3) 「ヒューマン インターフェース デバイス」の左端三角印をクリックし、展開します。



(4) 「HID 準拠デバイス」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。(「HID 準拠デバイス」が複数ある場合は、上から順にクリックします。)



注1)「HID 準拠デバイス」は、「HID ベンダー定義デバイス」と表示される場合もあります。 注2) USB コネクタの抜き差しを行わないのに、上記デバイスマネージャーの画面にていず れかのデバイス表示が一瞬消える(又は画面がチラつく)場合は、PC の USB ポート又はリ ーダライタのハードウェアが異常です。PC の他の USB ポートに差しても状況に変化がなけ れば、PC 又はリーダライタを交換してください。

(5) 「詳細」タグをクリックします。	
HID 準拠デバイスのプロパティ	ここをクリック
全般 ドライバー 詳細	
HID 準拠デバイス	
デバイスの種類 ヒューマン インターフェイス デバイス	
製造元: (標準システムデバイス) 場所: 場所: 4日前:0	
デバイスの状態	
このデバイスは正常に動作しています。	
OK キャンセル	

(6) 「デバイスの説明」をクリックします。

HID 準拠デバイスのプロパティ	
全般ドライバー詳細	
HID 準拠デバイス	ここをクリック
<u>(q), ≑%int</u>	
デバイスの説明	
値(乂)	
HID 準拠デバイス	
OK キャンセル	

(7) 「ハードウェア ID」をクリックします。



(8) 「ハードウェア ID」に、「VID\_04C5&PID\_1556」の文言が含まれているか確認します。

HID 準拠デバイスのプロパティ	
全般ドライバー詳細	
HID 準拠デバイス	
プロパティ( <u>P</u> )	ここで推診
א דילידא וו	
值()) HTDY/JD_04C58PTD_15568PEV/ 0100	
HID¥VID_04C5&PID_1556 HID_DEVICE_UP:FF00_U:0001 HID_DEVICE	
ОК <b>*</b> +ууди	

もし、「ハードウェア ID」に「VID\_04C5&PID\_1556」の文言が含まれていれば、次へ進 みます。含まれていなければ、(4)に戻り、別の「HID 準拠デバイス」を右クリック し、確認を続行します。すべての「HID 準拠デバイス」を確認しても上記文言が見つか らない場合は、リーダライタの USB ケーブルを PC の別の USB ポートに挿して、同様に確 認してください。それでも見つからない場合は、PC 又はリーダライタのどちらかのハー ドウェアが異常ですので、交換してください。 (9) 「全般」タグをクリックします。

全般 ドライバー 詳細 HID 準拠デバイス	
プロパティ(P) ()、一ドウェア ID (値(ゾ) HID¥VID_04C5&PID_1556&REV_0100 HID¥VID_04C58PID_1556&REV_0100	
HID_UQUSERIU_ISSS HID_DEVICE_UP:FF00_U:0001 HID_DEVICE	

(10) 「デバイスの状態」が「このデバイスは正常に動作しています。」となっているか確認し ます。なっていれば、「3.ドライバのインストール」へ進んでください。なっていなければ、 次へ進んでください。

9.4				
	デバイスの種類: 製造元: 場所:	ヒューマン インターフェイス デバイス (標準システム デバイス) 場所 0		ここを確認
-รีทั่งไวด เวิดรีทั่ง	状態 イスは正常に動作し	ています。		
			*	

(11) もし、「デバイスの状態」が、以下のような文言となっていた場合は、「デバイスを有効 にする」をクリックしてください。それ以外の文言の場合は、PC 又はリーダライタが異常です ので、交換し、インストールを最初からやり直してください。

デバイスの種類	ヒューマン インターフェイス デバイス	
製造元:	(標準システム デバイス)	ここを確認
場所:	場所 0	
デバイフの状態		
フィエレベの1八元2		
このデバイスは利用できませ	ん。 (コード 22)	
このデバイスは利用できませ [デバイスを有効にする] をグ	ん。 (コード 22) リックして、このデバイスを有効にしてください。	
このデバイスは利用できませ [デバイスを有効にする]をク	ん。 (コード 22) リックして、このデバイスを有効にしてください。	ここをクリッ
このデバイスは利用できませ [デバイスを有効にする] をク	ん。 (コード 22) リックして、このデバイスを有効にしてください。	ここをクリッ
このデバイスは利用できませ [デバイスを有効にする] をグ	ん。 (コード 22) リックして、このデバイスを有効にしてください。	ここをクリッ
このデバイスは利用できませ [デバイスを有効にする] をク	ん。 (コード 22) リックして、このデバイスを有効にしてください。	ここをクリッ
このデバイスは利用できませ [デバイスを有効にする] をク	ん。 (コード 22) リックして、このデバイスを有効にしてください。 デバイスを有効にする(N)	ここをクリッ
このデバイスは利用できませ [デバイスを有効にする] をク	ん。(コード 22) リックして、このデバイスを有効にしてください。 デバイスを有効にする(N)	ここをクリッ

(12) 以下画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

バイス問題のトラブルシューティング ウィザード	-114
デバイスを有効にする このデバイスを有効にしますか?	
次のデバイスが無効です。	
HID 準拠デバイス	
デバイスは正しく動作していない場合、またはリソースの競合を起こしている場合は通常、無効になります。	
このデバイスをもう一度使う場合は、このデバイスを有効にする必要があります。このデバイスを有効にする には「しなへ」をクリックしてください。このデバイスを無効のままにしておくには「キャンセル」をクリックしてくださ い。	ここをクリック
	1
< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル	

(13) 以下画面が出たら、「完了」をクリックします。

HID 準拠デバイス	
このデバイスは有効になりました。	
	ここをクリック

(14) デバイスの状態が「このデバイスは正常に動作しています。」となっていることを確認し ます。そうでなければ、PC 又はリーダライタが異常ですので、交換し、インストールを最初か らやり直してください。

2	HID 準拠デバイス		+ T#=3
	デバイスの種類	ヒューマン インターフェイス デバイス	ここを催読
	製造元:	(標準システム デバイス)	
	場所:	場所 0	
ටගින	デバイスは正常に動作し	್ರರದುಶಕಂ 🧳	

## 3. ドライバインストール

インストールについて説明します。

- (1) 管理者権限でログイン後、任意のフォルダにてドライバファイルを解凍してください。また、 すべてのアプリケーション及びウィンドウを閉じてください。
- (2) Windows エクスプローラーにて、解凍したフォルダの「setup. BAT」を右クリックしてください。



(3) 「管理者として実行」をクリックしてください。

-	名前 🔺	更新
	퉬 32bitFile	16/
	퉬 64bitFile	16/ クリック
	<ul> <li>Setup.BAT</li> <li>篇(0)</li> <li>編集(E)</li> <li>印刷(P)</li> <li>管理者として実行(A)</li> </ul>	16/
	「開来(L) 印刷(P) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いりい

(4) コマンドプロンプト画面が出て、インストールが実行されます。以下のように「正常にドラ イバインストールが完了しました。」と表示されていれば、ドライバインストールは完了です。 「×」を押してコマンドプロンプト画面を閉じます。



#### ※エラーメッセージー覧

No.	メッセージ内容	原因/対処
1	管理者権限で無いため、ドライバをイ	「setup.BAT」を右クリックし、「管理者と
	ンストールできませんでした。	して実行」をクリックして起動してくださ
	「setup.bat」を右クリックし、「管理	<i>۷</i> ۰.
	者として実行」をクリックして起動し	
	てください。	
2	共有違反です。	ドライバファイルが使用中です。他のアプ
	ドライバファイルコピーに失敗しま	リケーションをすべて閉じて、再度インス
	した。	トールしてください。
	ドライバをインストールできません	
	でした。	

## 4. ドライバインストール後の動作確認

- (1) Windows エクスプローラーにて以下のプログラムを実行します。C:¥Fujitsu Frontech¥RFID¥CounterSensorSlim¥RfReaderTest.exe
  - 注) エクスプローラーの設定により、ファイル拡張子である「. exe」部分が表示されない 場合があります。
- (2) 以下の画面が表示されたら、「テスト開始」ボタンをクリックします。

「テスト開始」ボタンをクリック後、タグをアンテナ上にかざしてください。	
ドライバDLLバージョン: タグ検出枚数:	ここをクリック
	7
検出3010	T XPI#Kg
	テスト終了

(3) アンテナから 10cm 程離した場所にタグをかざすと、画面の「タグ検出枚数」と「検出タグ ID」欄に、検出したタグ枚数とタグ ID が表示されます。タグ枚数とタグ ID が表示されること を確認したら、「テスト終了」ボタンをクリックします。

RFReaderTest Ver. 1.0.1.0		
タグ読み取り終了		
ドライバDLLバージョン: 1035.	与步程出权数:	
ファームウェアパージョン: 0.82E9		ここをクリック
RENCOUAJU: [10]		7
30003035307B2831B381D0077E57	TANARA	1
	テスト終了	J
	タグ ID は 24 桁の英数字で表示されます	
	END	
	END	

(4) インストールする PC の 0S が 32bit 版の場合、次の(5)へ進みます。インストールする PC の 0S が 64bit 版の場合、64bit 版ドライバが正常にインストールされているか確認するため、以下のプログラムを実行し、(2)へ戻ります。すでに以下プログラムを実行/テスト済の場合は、次の(5)へ進みます。

C: Fujitsu Frontech RFID CounterSensorSlim 64 FR ReaderTest.exe

注) インストールする PC が 32bit 版か 64bit 版か判別する方法は、「1. はじめに」の「(3) その他の注意事項」の8)を参照ください。

(5) 以上で動作確認は終了です。ドライバは正常にインストールされ、ハードウェアは正常です。 「END」ボタンをクリックして、ツールを終了させてください。

No.	メッセージ内容	原因/対処
1	リーダライタ未接続エラー~	1) リーダライタが PC に接続されていませ
		ん。リーダライタの USB ケーブルを、PC の
		USB コネクタに接続してください。
		2) リーダライタが壊れています。リーダ
		ライタを交換してください。
2	リーダライタドライバが正常にイン	リーダライタドライバが正常にインストー
	ストールされていません。~	ルされていません。
		ドライバのインストールをやり直してくだ
		さい。
3	~エラー~	リーダライタが壊れています。リーダライ
		タを交換してください。

※エラーメッセージー覧

### 5. その他

(1) ログファイルについて

弊社担当者よりトラブル調査用としてログファイルの送付を依頼された場合は、以下の1) 及び2)のフォルダのうち、存在するフォルダの下の「\*\_Log.LOG」(\*は任意のファイル名) の形式のファイルをすべて送ってください。

- 1) C:\Fujitsu Frontech\FRFID\CounterSensorSlim
- 2) C:Fujitsu FrontechRFIDFCounterSensorSlim64

注1) 両方のフォルダがある場合は、両方のフォルダ下のログファイルをすべて送ってく ださい。(64bit版 0Sの場合、フォルダが両方存在します。)

注2)ファイルサイズが大きいので、可能であれば圧縮して送ってください。